皇國臣民ノ誓詞

二、我等意園臣民へ互ニ信葉島力シ以テ開結

通りその路路も目睫の間に近く 線の音楽は既に形実、石芸生に

九〇五年に閉道した。一九一

漢線 こ

正太鐵路

マス - 紀吉殿機ジテ立振ナ帰る國民トナ 利共へ心ワ合セテ天皇陛下ニ忠義ヲ竭シ私共へ大日本帝國ノ臣民デアリマス

平漢戰線北 城にて 藤井特派員手記

激戦四時間で撃退

れを繋退した實況で、○○部隊長は從軍の記者に對し『この狀況をありのまゝ傳へてこれは抱陽山(保定西方六里)麓において○○部隊本部が敗殘の敵の急襲を受け激戦こ れ」と特に依頼した

頭があかる。しまつた。思はず微壁のやうになった道路に身を飾ら 喇叭が響く、とたんに、タン、タン、タンからタター、タター、田舎の馬車の笛の

「協山の機関を後に翻河井の部落の坂を一選平地に踏み出した。 进

直線に刈り取られた数なは鎖つてある畑の中をはるか彼方の高

ハつづいてゐる。左に抱隅山とその平前に双手山、(假稱)前

る右にかけて三百米から三百五十米の山が屹立してゐる 萬一この高地に、数の陣地があつた

して飛び込みざま身を伏せた、酸は冶製の二百五十米の山の八合目

後部に少兵を隨へた約八百名である、步武堂とな豫威がした、部隊は先頭に少兵、次に騎兵

を徒歩で歩んでゐた、突如、ババーン、妙なは中程の黒川〇〇長、騎兵少尉)の前方二人 と照りつける残暑を浴びて進んでゆく、

輕機はパンパン、つづけざまに敵陣地に集敵弾は全く止む暇もない集中射撃だ、我重り、後方警戒を嚴にせよい命令が次々に來り、後方警戒を嚴にせよい命令が次々に來 の銃撃にも驚かず氣持ちよさそうに眠つてコしまつた事をしたと思つた、余は傍らで彼我さこえる、朝捨てたばかりの敵の鐵帽を今更生班は居ないか』『獣器は居ないか』叫び聲が をほとばしらし「アッ」と叫んで倒れた、「衛た軍馬の蹄にかけられて前額部にサッと血汐 てゐた部隊屬託の松間寫眞班員が敵彈に驚い 敵の弾で死ぬのも無念だ、屆かぬ迄もと挙げ全員全域を覺悟しなければならぬ、むざし 射撃する、『敵の彈が何だ』身をすくめて走つ 余らは遂に敵の 部隊約八百、輕機二號、一敵は前方八百米、山岳 命令が次に

間の對日ボイコツト運動は一時相「支款協設企製製運動に職機したが「使命、陸海軍武官、明教官、主要 當器化したが最近では製造も機分一者は必ずしも對日感情の級和を配

【ロノドン五日問題】イギリス民 | 民間運動も對日ボイコットより對 | で定應工作に入るべしとなし、大 | なつた。日本産業経験でもイ

情報委員會を組織して活動

は無効だと説き始めた。は大便館のみに委せずこの联連ん。活潑なる針段論工作に入ることと も次第に判明して来たが在留邦人 味せず支那の貧限が荒唐無程な事

の現存で各種具體業の決定を見り

をもつて情報委員會を組織。五日

銀行、商社、同盟ロンドン支局等一概れる一方的デマに遂はされ早計

體約百を遺棄してバラく「山頂めがけて敗走飛行機の恐怖から敵はやうやく射撃を止め死機陽山麓の激戰は二時間に及んだ、我砲撃と

用近の節 阿地爆戦を敢行中 であ 辭

主而六日问题] 年前九時我 煙化

商務印書館

附近を爆撃

は政部貫通統領、部隊長の副馬はさらに関節部貫通外折で倒り

來た。一回二回上空を本くゆらしてゐると― 疲れた兵士が弾の音にも繋かす 一般特地の傍の民家から深々と自境をあげて火災が起つた 、ら射撃を受けたのであらう、忽ち低空一回二回上空 を 旋回してゐ たが、双。らしてゐると―萬歲―友軍 機が飛ん

威力である、萬城西方二里、保定西方六里のちにも胸のすくやうな飛行機の活躍、砲撃の飛行して地上射撃を行つてゐる、緊張したう飛山から射撃を受けたのであらう、忽ち低空

然をもたげると忽ち集中別難を喰つて手のつけょうもない、折袱後

るやうな繁備の勇壯さ、暗黑となる 米粒一つはをろ 悪となつた山岳
○○部隊の血の

後方双子山も既に我○○他が陣地を占領した進げる敵を追つて機關銃の雨を洛びせかける部隊は見よ敵弾地に日章族を飜へし勇猛にもをはじめた。左右兩翼から進んだ少兵の突撃 **遠急破な山嶽に隙まれた酸としては越好のが顕地聴である。我にして征馬は進む。河畔の異はやりやく冷葉が跋しくなつて来た。** ちて終婚は至く止んだが、遠間のやうに極繁が開えて來る。 たわれらが電際であった、薩摩地には我那麽の一部を残し、我軍はらポットした系はやつと 助かつたなと思つた。質に斡殺に 騒ぎれ 館原地を占領、更に左方の館間地をも精満した、四時間輪の膨脹が がり落ちる。五時半山から山へ敵を観思、一兵も傷つかず我軍は 山頂を逃げる敵の異に異なる非いない。 廿三日初院山の殿跡で農田部隊の

一步兵 一等兵 山下流正常兵体队 [戰死] 步兵上落兵林以 [戰死] 步兵上落兵林以 [戰死] 步兵上落兵林

【重傷】 騎長程本上就

田の機能における我軍

の犠牲者

リ込み邓北横開説を占領に向った 抵抗してある教育名の鶴順地に眺め上三宅市場野長は山瓜に眼臓に 日支紛争を

原則に賛成し難言脈ありとしまた際してボーランド代表は決議業の も無機したものである 詩訓する餘裕なさとの理由で何れ スイス、カナダ崩壊代表は政府に

貝會採擇

赴戦湖へ

總督

汚帯を観銘して関信里にを連ねて出版。途中決りを連ねて出版。途中決り

郷の第一夜を隠した雨 松脚にて大津特

参近き高原の長州山

雄大な景色を一部におさめ再びを 一秋の色潔さ赴戦制の前景を背時五分符、近ちに乗船して既 自既山頂の扱烈器にたつて酸汽動車とケーブルカーで ドリツ側の限もなく (動車で午後) | 時五十五 が船が場に上陸同計五分 た現食も終つて午後次

に向った 地支黃

八分松興發汽助車で最興

統裁判に目出版へ完了 東仁防空天前間・一糸流れぬ

ーと敗戦を物語る

上海の限局いよく進展 に極監 一夜に破碎、京仁総後の概 の販売年素の組織へ、見申

間や岩の下をくいるやう が日本の軍事行動を京記 社一座工里

開闢なんで東星の存在かと と実つ豊つである。これも 合議の開催け不可能とな **- 英國代表の旨は正論** を総路関と認定すれて 下天 品 --

印の本日康健はンマーコッキ

社會式集恤發田野, 建用御貨內容

東京流程文書教を占領した部門「一保長の所針品を調べると部下か」た。その内閣は東京都の手紙が發見された。 東京流程文書教を占領した部門「一保長の所針品を調べると部下か」た。その内閣は

戦化半数に達し述

【元月三日】

達し精神 に異狀を來 連日に互り戦後工事 連日敗北のた 土古の穴居生活に復 おり朝に至り始め

○九月十七日 我軍兵 力四 進言せんと 欲するも識なさを覺え 師長に て 本日中秋なるを知歸せり朝に至り 始め

本日夕刊四頁

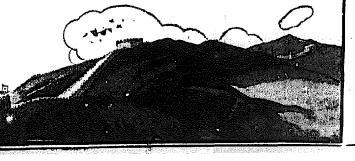
されるのだがね

・天晴れ大英帝國の面目がず、世界平和のために活かの正論を英国の爲にのみ語 T

. . . .

10-J-8

印の本日敵無は丸の日



明らた、和原山底にとうろく集団、観観を地場、福津地古流の英雄を、祖連地古流の英雄を

つせいて女軍の突撃

質長と兵の勇武を継

北支羊頭溝の名譽の戰死者

岡本善太步兵少尉

自ら地雷火を踏み

敵を微塵に粉碎

爆弾二男士をも凌ぐ

(月一等水兵の戰死詳報

以文大學(*6)である。この爾先號が北支中支の陸に空にほかした武鵬は江頭校長以下全職員、一千の京中機別を初め全面 にもその儒肉類となつて電燈論目がけて自爆し流星のやりに敵首都の空に消えたがわが空軍の花形、第十四回卒業の 避を教行し、その得意の猛烈なヘル・ダイヴイング(急鋒下爆撃)で麓の電性厳を壊滅した際、不幸羅高別戦の直 地田東三郎氏夫妻からわが見同家に建せられてゐたのでこの九月んでありさきに愛國神墓造のため一萬國を飲金した中央無機計長を削五丁目坂本事之氏力から通學してゐたが、その家の大家さ

政をなすことしなった 員は為居恐拜、國歌素唱、開春奉 大野政務機関以下二千の職 一百七十九人に對し約五割三分强の引揚を見た器である 口から南大門まで

一民精神總動員は

月七日から

在鮮支那人の 電車を中央に

の實數を調金中であつたが、今日「虚は一層が散を発して來たので、比につき體育時では各世を通じそ「運行の電車のために否確するを通じ種類解験以來在鮮支那人の別樣版」口から指大門までの大通りは月間、「種類解験以來在鮮支那人の別樣版」口から指大門までの大通りは月間 では全く引捧る終熄を告げるに至一府工整部と京電が膨騰の上電車線

交通緩和のため着手



牛を賣つた歸途

姓(弘)任五日牛一頭を清州市場に一院、清信間鐵道を通行中父柳末郷 出北清州和南一面斗三里是崇柳水 | 人本光文の南名 が辿ひに行き 何者にか殺さる 岡州―賈上金も强奪

も闘宅せぬので、長男御文柄と橋

朝鮮人の覺悟 本府が五十萬部を印刷し

取中の邦船七隻航置又は坐職し乗島近海に隣風襲來し附近で海車強 【高雄龍話】尖る四日夜プラタス 邦船七隻顛覆 プラタス 島附近

☆忠潔周知徹底のためを護小册子 一郎人の 住むあらゆる 地域に配布本所では事党変生以来時周の正し一部。北支、上海・武策、権大祭祖本所では事党変生以来時周の正し一部。北支、上海・武策、権大祭祖

日夜八時三十分ごろ都就管側に「貝が行動不能な男二人を取調べよ

玩具の拳銃を持つ男

朝鮮神宮水樹的技大会は半島。さを指して駿州和東禅に築行。を一分間行ひ。更に今回勢

するとといなり、來る十五日 局が健定した『島國臣民の

技競宮神

-五日に入場式

「國家非常時局に脱音し、翌日を本一祭を独行し各學校では奉護式を撃 來る十三日二戊申副曹を國民に職「載すべき秋なので本府學務局では

(戦下における防空域の完璧を振す 気線に検討を加へ、今後の敷時費 (付除して各持ち寄つた報告に基さ

るところがあつた。五日夜の防空

はつた記念すべき日に當り、殊に、全鮮各神動に於て、聖旨奉戴奉告

『皇國臣民の誓詞』を朗誦

日本精神を昻揚

するとになつた。何大會は現、日本精神のソンボルである頃、周是の式辞、大野政都職職の役の第二限民の意業高く開催。正午から行はれる入場式には、同一を全員明確し、顧原基準

(猫少)的として耐災中途にま月十六日戦頭溝の艦岐で貼着なる現代の東縁征途に上つたものであるが北支撃城第一線に起へて韓戦、勇勇縁征途に上つたものであるが北支撃城第一線に起へて韓戦、勇

た三名は配破を除して近づくと配・一般地がてゝにあるのだ」と直感し

時局を鼓吹する

紙芝居が着いた

午前九時十四分・北四川路左張の は飛び悔つた血がには赤に色彩らいてある、親忠一等表現ない。してゐる大月「尊永兵はあつと蘇縦導か飛び年摺頭が飛辺する五日」は飛び悔つた血がには赤に色彩らいてゐる、親忠一等表質を長くす。際く、射も抜かれた機を使って操士をも襲く牝烈な話である。迫戦。と云ふに安に確の死位が接近し無。ある、賦上から極神解眩が火を近。蛇の在所を探せ』と揚越に候及か、土をも襲く牝烈な話である。迫戦。と云ふに安に確の死位が接近し無。ある、賦上から極神解眩が火を近。蛇の在所を探せ』と揚越に候及か、土をも襲く牝烈な原である。

因に大月一等水兵は宮辺陽田身 滑夜 ✔ 君の机避に

O. A.

院隨意

Ø

仁

場造釀油醬杉高

.77Ľ

など慢ッりが生崩しることあ版所存むいう好ドと演ん家さ然は並る作で名。 『け家ン会養だとがしハび』とあな

父 友親貞 擊 るところ **夕** カ

髙 價 川

人威廣 敬

三貞波 各 豕 家家家 シ厳 シヤマカンパ (強雄な事がは) (強雄な事がは) (強雄なながほ) バニ 漢江通

津々浦々に張る。進軍」色皇軍 進軍 又 進軍

傻銘酒 二本人化粧瓶有り

大の興奮と感激を盛ったの興奮と感激を盛っ

コトかデキヌプロ SOULS AT SEA 高大巨作大超の本一年ートンウマラハ。 品作督监 イエウサハ・イリンへ匠 巨

7 大 五十钱

劇

東日・大毎連載 住伯秀男助演任伯秀男助演任伯秀男助演 山本<u>熟</u>次郎 爥

社會式株造酒梅竹松 崎魚

+

官民合同の機数官棋武巡長久師

の例差に含るので大阪な主品する。ものと無思される

。見たる京焼の破火脊癬、龍山 | リ、本日の知き脳荒にありては飛い弾し得べし。思い神圏司令部築表】飛行鞭士 | 備し京城を空縄より鑑るの栗大な | と改問提鞭と大奏なき地駆が果を

尿畿道では

七十點を採點

神嘗祭當日の盛觀

戊申詔書御渙發

聖旨奉戴式

十三日全鮮の諸行事

ある。倘は国民精神作典烈用中は 國民精神總敵員の各行事を加へるし、なった

武裝街頭行進

書の空襲と同

京城の燈火管制は落第

爬行機から見た鈴木大尉の報告

例年の作興週間をこれに當て 人規模に擧行する

リ、十月一日現在までの引揚線数 既に五割三分

南北西の西海道度 同じ

南(東の風北)同じ

仁川の潮時 (7月)

映 書 番 粗 の

と美に原理

指間水虫 - 股間 5 んさん

断 事 足 Ø

14-

病院

のご用か何ひたいものですが これにて転せなら話されでもな 何分、往来では】 今夜といはずとこで、何

他とういふ本でとYouいます。 一 仲は、別様ではごからぬ、関定村 りますは目月田逸蹟、お見知りを の旗徒忠矢郎の僕で」 「左様でございますか」 「今夕、我々三人が推議したる要」

が漢を耐果す心感でいるる」 と、いい野平矢の見が、蝮のや「痛いのを開想にも打明けられず、「出ずべきつかず」がも無駄にたら「腹を助果す心臓でごろる」 「腹女の身で下り物がしたり下腺が、がグソ(人内型へ役み込んで流れが戻を助果す心臓で ころう カリ溶けるのも鳴らしいですが要 くてもとくなりましたのです。十 ませんので・御楽を送つて頂かな c有離り御座います。今はもらす 先日は御製切に御訊ね下さいまし ソ球は私にとつて本當に結婚の守 つかり下り物も毎月の痛みもあり ましたのを、数つて頂いたワセト

「話の爻弟によつてはそこ計に掛 一でいまの子体でいないです! りに光つてゐる。

「鬼ではないらし」「気色が土色になつて根に嵌さへ出」はのも進んだ登明の倫理です。 「それにつき做ひたいは、忠実郎 「子分だつたらどうなさいます」 られずに、もとにもまして美しく の織しい御度りでよく割ります。 外島女にも使べる御棚で織にも知 治験があまで用来のは、上胚胎験 火島女にもいる(一苦心して調べた材、みか肌に知らず) へ進んだ歌門のした。いる(一苦心して調べた材、みか肌に知らず) へ進んだ歌門の 來た時は本當に自殺し度(思ひま)の御精集も五年前と違つて、 丈夫になり結婚する私は一番完献 で、病心から病養病熱をとる消炎 出ずベタつかず一流も無駄になら

指揮をいたする

忠次のことでわ、へええ?」

の忠夫郎既について、内々の

併三郎の供をしてゐた土壤場の

五ひ配いて行つてしまつた。

誤ると恐ろしい 私口の手當を

「ようした方が面倒臭くねる。 路 『担つかけて行つで、いくらか惧

や様で体での頃にくると云か

と、併三郎は忠次儀について興

の身で如何ともならいの江戸によ

「實は――お恥しいが我々は浪を

忠文を惜むのでございます」

「子分でごさるか」

の彼な良い 豊かチャンと地へてあるから 恥者も安心であるら サラ・竹棚を美むる 季節を悪して繁婦よく使へて効目の違いワモトン球 さけ、本地になっても東辺しのつかね程でつれるから、今成倒の秋日の婦人絹の手含は六ケ数く面倒なだけになると貼く誰が良へ

器第二木村 仁

他の新生理事・被めば本質の 通り新町十三番地合名合計河原商 キに「何日分送レ」と扱いてお出 店(根容泉東三五〇一九)へいガ

皮膚泌尿花柳岩 醫學博士 渡邊普

不続ですが、私も用の多い強で「すは綾楽三右衛門、又、それに居

質れてある類……は行為れて仕方。」な意識に対す一方……なきの戦機。 それに は 新 強明薬り (と頭癬が脱でみ健中が減で は見せず、貯食はへるのに願り略 老液に は 一番良いばかりの身を採にもてあまし、イ 服事坐策からまじない並しても最 治療に は 一番良い なく、夫がより附かぬ家はジメジ よくなるのと不思議に一處でした 遊びが止まるのと私の他の週子が メの谷底でした……ぶつつり夫の るで生れ強つた御路を心から厚

結婚の守護神 から信た婦人雑誌を聞いた戯に見

と感謝します

出したワセトン球の記事、これを一り治すに限ります 人知れずサッパ

と研究を重ねて申分ない局所薬が「は漢形に現はれます。と研究を重ねて申分ない局所薬が「仕漢形にし属れを除る研究薬剤力 んだ物にある事で、適か難り不快 なのもいけませんこと云つて内服 き出しの葉や表面を申降に一寸包 黒く汚し爛れて赤面するのはむ 做痛收飲、利沙防魔治器、 翻拜上

かり溶けるのも彩らしいですが要 ソ球を使用されてゐます。 名族院婦人科で評判のよいワモト ワセトン球は入れて八分ですつ 秋口の一度は冬の三度の郊目 ミン療法の雇用で粘膜を握め殺職 血の路作用は、野家区定の残逸を 重症も一日一回 に有名なADヴィ

れ工合版の冷え際まりこしけの止婦人楽として初めてなら難みのと しい婦人の様にもどります。 まり工合は属に申分なく、色肥美 で、成女にも安心に使へる便利も のはそれ以上使ふ必要かないから

御建女はこうして

トン球』と特に云つてお求めにた打名要店で帝大病院使用『ワセル

英一品切なら穂代理店東京市芝區





使つて芯





内々にてお断かいたしたいのでご 「親分、永~お手間はとらせい、

無に入りの鬼のよン公が、頻宜の

伊三郎は竪軸に捻拶をして、

人ひつてきた併三郎のあとからな 群平大などが坐つでゐる。そと

だから十も老け汚ないの

帝大病院の方法で治りました

ムへて右脚が引きつって

火ツばり、小づかひ録が欲しい

一世三郎は容みらんで、

もでは一少ご用を何ひませる 『大機辞平次さんと何有いました

元に勝る美しさ

よろしらい地らうか

ことで何つてはいけませんか」

教院で

あれ種の置い個人指がすつかり治かしらと思へて仕方がありません に難いてゐます私は時々之れが私殺人的暑さにもヤケズ毎日丈夫

つたのさへ有難いのに、背よりず

ら半月たムロにげつそり戦く戦の音楽も御座いません。夫の淑嶽か

家庭もワセトン球の勢力と思へば

(前略) ホット息づく今の明郎な

安い藥價で治る

勿贈ない程の

搬みと下り物に苦しめられ、劉々

つと美しくなつて五つも若返つた

人様に云はれて幸福一杯の今の

《土といふ院報には一先づ頭を下 つかひ縄の無心かと、思ひながら

るのふうな。 さうかいのでは 「どうした浪人は。何?事んで

外などまるで見えない座敷に、

歌らしくない浮浪人が、又、

さら云むつけて置いて・原動 あげる。ご滑として一分づつ の隣りに動形に寄り、そこから場

人、背の高い浪人が、旅の順 腹だが島村の伊三郎親分かり

> てきたとっさらだらうと思った。 「さうか来たか、何た三人になっ

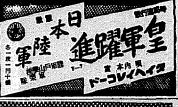
動村の伊三郎が削欄へ出て、そ

大雨の前 (1)

い二人が連れたつてゐる。 岩田專太郎

利根川に盛んで。 比至一間も







通一回量)以上に相當す。 以上に相當す。 ▽近野ビタミン單位を指しく防張 せるものあり、御注意を乞ふ



體力を強化し、抵抗力を増大し 結核・感情を防ぐミツリ肝油ドロツプス!

物を何でも食べる子は病氣に罹りにくい。從つて成分の軍機に、食物の種類の少ない偏食の子は病氣に弱いが、種々 一本の矢ではすぐ折れるが数本の矢を束にすれば強い

ナでみ休ね今只

表發ロブ週次日近

座日朝

阿田五一〇世日一十一 りよ日六 南圭子京川光・総本社本 著 役 衛 長 安 一 知二年 報 覇 船 大 二 天一二三 基準 那支日 朔 三 滿主郎二大川東子政会川 交 夜 色 金 五 近大青大田三子 大平直和の 古代書人の一大平直和の 名官 首信 京 場削城京

モツワ石峰本舗 ◎丸見屋商店・

数数の京 藤 〇二ミー 品 〇二・七〇 部

カ**ワ** キゲ



地里

る同,フン

細の

肝作スとな食局

D. 61 1日活日活日活日活日活日活日 and マネキケケオ2:000 出规制设 り上日四月十

門 3,00 11,30 スーユニ・日京寶寶 7,18 3,16 11,80 人 失 省 孔 B 9,00 5,00 1,30 弊スーユニ日朝・日京 9,16 5,18 1,46 膜 線の エマ ് കെ തു വി വി വി വി വി വി



我方針を中外に宣明

世界に人類のため異へら

る例にはその地上加例なる。これにして動

しか。るに要性なる馬頭で

ル大統領演説

現在世界の各所に倹約の侵犯並

柳省は六日左の如く関盟部是議を要求、我が管理政府の方針を中外に従明した 発が外では、年の19世紀の東京に関する演説を行つたが、その論旨は単連の現職にも言及してあるので、我が外側がは、日本のは、東京の (東京の) アメリカ大統領ルーズウエルト氏は五日ソカゴにおいて国際平和の歌謡をに現行

提りの事である、大統領は特に国の席上で演説したのは異に数を月

の協力を要請した、大統領が公開 政局の危機を指摘し平和愛好路図

素を前に一場の演説を行ひ、園田

並に地中海「海域」春水戦問題か で閉つて「侵略関」を論難した

とは随る独自されてゐる。大統領

の名を場けなかったか、日支事種

が海軍の新航費の押は総鉛をつ「姚碩の顕勝を浴びて放散を坐じ至「殿房は左の如くであるが漢字」した離野行鞭の内「鞭は、我が高」る諸情報によると上海市内の「緩

上空に飛來我が職局を襲撃せんと

【東京電話】六日海軍省に到着せ

上海市內狀況

【上海六日阿盟】中央証信社の報

たものと見られる

腸以果の修理された範路に再度駆 かすめて北上し、麓の軍用領棋だ 海軍機〇〇台は廣東西方の上空を

日本は支那に平和的

【上海五日同盟】 五日午後の間北

局指揮の海軍機の機は六日午前十

【上市六日同盟】 白相、南寇兩大

一時三十分無衡飛行場を堪覧、地

投機せしめその脳流情境上空に 行場にあった脳瓜原機一機を選

> 更に無湖飛行場 多大の提供を興べた

きのふ午後又復南京空襲 烈なる空中戦を展開

空軍の首都場職を加ひ、極力列國の同情を強調

お行ちして関ります。
の質用ある加琴店、首貨店の質用ある加琴店、首貨店

に敵の七機と壯烈な空中職を演じ、その全部を撃墜、我れには何等の損傷もなく悠々購還した に敵の七機と肚烈な空中戦を演じ、その全部を食ぎ、戈しこより等としまった。ニュニケーを破破、更に願戦し来つ使場飛行場に徹底的爆撃を加へ、地上待機中のカーチスポーク三機、ボーイング機二機を爆破、更に願戦し来つ使場飛行場に徹底的爆撃を衝いて南京上空に飛び、大

内にあり)合計五で五、〇六] 〇〇(主としてペンド銀行合社 ・〇〇(主としてペンド銀行合社 蘇州河以東四、〇六] (内地入

午前の南京空襲 **敵三機擊墜、七機爆破**

蔣介石の 負け惜み

中尾兵曹長戰死

我方には損害なし

上視五日回盟】午後十時第三體|いて大學安慶飛行場の课學を放行 製道理験表──海軍航空隊〇〇 | 格納加その他重要施設を特殊艦に [|香港六日问盟] 我告軍のため場

微鏡道の修復に支那範路常局は必要被壊された支那軍の軍用執殺事 現れ再度保難をなし、軍用修道袋 六時我が海軍機の機は突如樂昌に 死の努力をなしつよあるが五日顔

る鬼敵級の大場撃を取行した、韶 【香港六日同盟】今朝八時半我が一一 敵の軍用幹線 粤漢線を大爆撃

方面の邦人商店は略々全部問店 り積を振むであるが、徳州市方方面の邦人商店は略々全部問店 り積を振むであるが、大学が定立しており、但し短条 二十九軍名献、及び第三十八時 に 放け点たとは仁神八時上り 「一十九軍名献、及び第三十八時 「被州六日同盟」 徳州成戦市側突 「一十九軍名献、及び第三十八時 「「徳州六日同盟」 徳州成戦市側突 「「徳州六日同盟」 徳州成戦市側突 「「徳川六日同盟」 徳川成戦市側突 「「徳川六日同盟」 徳川成戦市 「徳川六日同盟」 徳川成戦市 「徳川六日同盟」 徳川成戦市 「徳川六日同盟」 徳川成戦市 「徳川六日同盟」 徳川成戦市 「徳川六日同盟」 「徳川八日同盟」 「徳川八日同国」 「徳川八日同田」 「徳川八日同田」 「徳川八日同田」 「徳川八日田」 「徳川八日田」 「徳川八日同田」 「徳川八日同田」 「徳川八日同田」 「徳川八日同田」 「徳川八日田」 「徳川八日田」 「徳川八日田」 「徳川八日田」 する前の部隊は運河及び配道によ り積々退却中であるが、徳州南方 【天津六日同盟】 港浦駅上を販売 | 1年5月、武城方面へ退却してお 「徳州六日同盟」徳州城壁西側突、日深史会部沿走し、途中退路を適

一つあつたが遠に継期れとなつて四一一部は廃南に向つて逃走中である 被的打戦を受け四分五限となり、 隊の激戦によって五日早朝階と全

ければならぬ、アメリカは歌争(Thitathale)がアメノもできた中の回復に努力を集中しな「メリカト軍部外の連貫部隊の第一十五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 こゐるが、年和の協力に超然一ソフラングスコ出發極東に向つた |三十二名は脳逐艦ガラント號でサ 右は天後、ハワイ及び比島駐車軍

に平原以南の港南郷は異常な旅継一せる林宅、際家宅に後退して

陸兵桑港出發 米の海外派遣

ソフランジスコ五日同盟】ア

保定上空に於て

空中戦を展開

一せる柳宅、勝家宅に後逃して抵抗。 日酸】羅店鎮西南方部落に據る動 勝頼の後六日午前七時半北宅を뾍開始され淺間部隊は一壺夜に亘る 部隊に對して五日早朝より攻略が

總督自ら音頭をごり

け總督と昭和する光祭に緊張した

平原以南の

が天職に向ふか競麦されなかった。 の変代兵であるが、そのりち阿名 【天津六日同盟】徳州の路落と共

感情な理地で、歴氣にも羅店厳郷」である。 部落は羅店飯に大くこの方面での「より造」

より迷に挫折位走す

「五日朝後川成南知事の出迎へを 皇嗣の誓詞唱和 昨夜漁港新浦に着く 威南視察の南總督

と、 - ととを聞いた機會は、衆委日 | 後五時三十分長承山莊に済く、夜あることを聞いた機會は、衆委日 | 後五時三十分長承山莊に済く、夜後相手として朝鮮人間に蹴い信息 | ある人造の湖長機跡を渡り五日午 千名の卒業生やその家族のよき相 | 長から愛電機構を聴き周即四十里 年の永い間间校校長として奉職二 午長港江第一菱電所で久保田扶助日校長に贈費府の方針を守っ廿二 (唱和することになった。五日正 受け战興臨済、それより自動車で | 學校首局では六日から毎朝職員生 成州都五老里者近母校を観察。山 徒と部落民が校庭に乗るり元無よ 2年島の産業、**教育脱髪の南陸者** である鳥間巨民の報詞を全鮮に見 新浦にて大渕本社特派員】非常 | 回唱和した、總督府のスローガン

見事敵一機を撃墜

に還定方面の敵に向つて攻撃 四、後間部隊は本日午原珠弘蕃のクリークを占領し の敵を両方に関迫中原珠弘蕃のクリークを占領し の敵を両方に関迫中原珠弘蕃のクリークを占する

落のクリークを占領し高橋南部隊は本日正午

津浦線上を敗走の敵 平原に抵抗陣を構築

運河で後退の敗兵は武城へ

■是し脱磁兵は全く脱棄なく戦前一脳部な振抗陣で衝袭して居り、そ | へ思いてある 徳州の殘敵潰走

一一一部した我が赤架、沼田、長野音部 の軍用列車は積々高南に向つて集 結され、旅南以南の街道線上の軍 を呈してゐる、即五醫亦緣略治郷一小致、梅娥を一切用ひず高引朝數

方に被影を消してしまった。という大きこうりこを見してい四十分後更に三権現れたが、又南一名我軍の勇猛な道殿に難は離に

敵機再度新樂上空 に飛來直ちに逃走

一憂を射ては蘇機は東北方に逃走、 切ョラー |大阪機三種が高度約四千米、我は||使網を張三線らし道駅底、提鉄界||回理事會 時半南方より新樂上空に又現れ

【平漢線資學六日间題】六日午前 | 名がクリークを項に利用し座時な 戦を行つた、附近部帯には飯一干 相ネグリン氏司登の下に間管、ス で及び朱宝方面に勇猛果敢な突 目掛け一齊攻職を開始し、摩橋 一個兵部隊の推進外職の下に蘇下近より刺一時間に近り総等部

の雨を降らしてゐるが、精田を概 仲地を構薬、更にその前面には鍵 を施議採擇し、之を以て第九十

本府辭令至豐

部落の敵潰走

西教命等古四等 (政府) 朝鮮正義技師

エ・エ・ア ツス ム ソ ンブラジル海珠販賣宜傳本部東京・銀座四丁目・彩書館

にてもり返ぎんと様だ河南はに潜。山脈は血物を含ひたやうに紅葉軍の陣容は、保定戦戦をこの一般。五度の会扱をインクラインで下 5市々政権を進めてゐる支那中央 | 午赴職樹を渡る、それより勾配 ため南護督は既に北洋巡視に向い非常時下の半島統後の情況観察の は五日午段中時三十分スペイン 【ゼネヴケ五日阿盟】帰盟理事 後六時ごろ自動車で開始する。 大野政務總監 決議案を採擇

けさ開城へ

總司令たりし劉峙の失格と共に新され陣地を張り、この方面の前廊

続となり對日戦衛に採取しつ

の方面の復司合はことにをつて全

敵西方に後退

朱宅の

笛した藤井、併佐阿郎隊は六日

及び暫立原軍の二十ヶ師が水も現 かけ萬融騰軍、商農軍、孫連仲軍

我が平衡航声下部隊を衝撃せん

を「これはうまい」とたべ





の正しいいれ方 ブラジルコーヒー 一杯に付助す匙に約三

4、その上から得したての 分け砂糖を添ヘサーヴ致たら直ぐにカップに取り、 珈術がポットに遊され の上に持ち強へます。 込みます。 適量の関語を徐々に注ぎ この確接を選められた

の概括に入れます。 の概括に入れます。 と創設附甲上げます。 腕縄を用ひます。

趣める。

い珈琲が一封度から充分に取的て少くとも六〇杯の美味しブラジル珈琲は又とても經濟

し忍耐力を養ひ、健康を推し珈琲の御愛飲は、筋肉を鼓舞離方でも、規則的なブラジル

平漢戰線從軍手記 [3]

同粱畑を血に染めて

最後の抵抗 ふこそ満洲事變の

(事先喜良して、総称 の指標院(数に於て、克 元本今日まで進府常局

眞心の慰問金

敵前で列車から大砲下

謙

かり

ユース映帯館の儲け振り野と生命保険の将來湘會社の儲け振り 遮斷と支那の武器 中 日 校線 記の 七君子の宣傳をは を振りてら地に堕った兄よ令妹梅林道子記 節城川越大使と語るの色焼白神を縋る女の群れ! 來るべき南北兩會戰長谷川了 戦争はいつまで組くか村田孜郎 支那長期的抗戰力無い鳥精一 支那長期的抗戰力無、小島精一 支那長期的抗戰力無、小島精一 が持た。 葉室鐵夫 るか?

北平の私娼窟を探る北京の怪奇大道見世物天津の蔼皃「鎌足公

神輿の行列

夕刊後の市况

勇士を

訪ふ

話の座覧

可答

月號電

十八圓二十三錢也



『李內區『如前原紀 社 秋 春 藝 文

会様もなく、水もない。高楽

八日

皇軍慰問金(辨を略す)



自然の味を生かして食べよ 見分け方と料理法

純毛靴下の良否



膓 炎

黒豆酒の作り方神經衰弱の妙楽

操げ物をする時に、『油切』は | 類位の足をつ 揚げ物の油切

1 1 X

10

銭五十仞定りあに店甕品蝕化草爆

覚証光化四③二八九八番/城二カ肛門科一の一方に対して

飯島

る事と思ひます、それ程鉛的は良かつたのです、だが其素階 鉛白が 若し有害でなかつたら、現在でも断然大歌迎されて

無い自紛がつまりサーワ固形自紛です。是非一度御試用下さい しい鉛白の附着や伸びをより以上持ち、纏無鉛無害の時分の

密難局打開,村

人義 科^征

麻木製技術 明二素学 金拾守園 田会目、帯 金拾守園 五合道、帯 金拾四園五拾錢 オス・響」所 金 孝 園 京城府明治町一丁目 (桑斯恩) 開號 秋岡商會

ラチオ様、そして それで「国爽快

+

日焦を完全に防く

一緒、顔面、手足さでも完全に「悪化粧」が出来、自然が地脈に 学和以下三分の一位で元分、而して際く和永保します。 分子が非常に細かく特に被殺力が大きくみへる場の背洞印粉の



選込んだやうに主じく旅行で動から色の白い人の肌の 標に な

選供の化粧すべて水砂毛がよく得き、水砂毛を用へば用い程軽

自然無き間頭などの出来る愛ひなく声鳴目間を味ぎ、杭州等の よくかへて生態ある化性学となります。 機器へ行っても気吹せず、殊に御水浴では甲部を助ぎます。 六篇型 五十錢

見 丸 魔河・京東 超本路石ワッミの

現在のストック値かに一千一とになるかも知れない

船腹は足らず

(の) (秋)色グ~國光

日はに近くかに主張らっ帰退ら不 「婦人」納討で食 「本町」報息日はに統然戦争されないのと戦闘隊。 がでは夫る一、二周日県老司で破内に和秦中の投れ軍中第二十二人 大郎党令を開催した。 新穀出廻りを控へ

新教の田盛柳か一般孔子園で株山郡明倫の高龍

關稅障壁撤去

【平填】北支方面の減え明朗化と 同葉組合ではこれ等中小商工業者 | 木商店の天井から出火、消防和具を企園してのる不填中小商工業者 | の別支援経的進出を控制ならしめ | 出題して近らに縄火せしめた、損を企園してのる不填中小商工業者 | 木商店の天井から出火、消防和具

「流州」邑番局では左の日和で秋 中二日内地人▲十三、四、五日

清州の種痘

北支の地盤確保を目ざして 平壌で猛運動開始

人工事を弱負つた間、西松の雨粗 冠たる大工事を完成すべく全 第一線行政

生業報國の恒久化

慶北で徹底を闘る

| 「清州」中北道では既政周新並に「生業報図それ自種が正し三年表」| 「原郷の利益を経緯すべくら面是の「原職のあるとし、道では二日年表」「生業報図の近久化について普通「停作品「原出版機製」と原説印度が 「日本報報図の近久化について普通「停作品「原出版機製」と正確に対しては既政周新並に「生業報図それ自種が正し三年間の「たほ四日は近内。 内郷主任を和集、文市費に ◆日、 かけ今後直ちに質施し、飲後の赤 既を通じて領域化すものである。

日萬石突破の豊作 思北第一回水稻收穫豫想 **半年の五割强増収**

二日登麦の第一回水稲吹豊後都高は七萬子六十一石、反常吹作に三拍子機ひの優作を開散する底が消み溢れてゐるが去る 全く帰異的政権を確認され、昨年、大災部を保つた後だけに 野民の割びはたとへやうのない程で度村には野皇に給作に招 石一斗四升六合、これを前年に比べれば三割六分九選 八十萬石をであったのが一提百萬石突破といふ

防護團敏捷『活躍し

川も上首尾

糸亂れぬ統制を示した

各町々の防護振り

質に五朝七分八厘八毛の増収となつてゐる、各那別收穫類初六毛増収、平年作よりは五朝二分七別増収、普通作に比せば

名は山東省生れ第卅六共同丸船一街・吸止器一式を押収した。此 を逮捕し阿片原縦一筒、灰入機 中の支那人三名を巡発中の仁川 仁川】五日午後二時半頃彌生町 七支那パン屋後房屋で、阿片吸

から当村神社の大祭賞日でもあり 吹であつた。主なものはいまってこととなったが同日は一のため前年间月に比し二千四の

【街州】二十一萬數千頭を投じて | 明合質の水揚高は陽計十二萬五

恰も清州神社大祭當日の

山一〇六、一五〇石《除城一三一、二六九石《北州一四三九一四《水一八四》,为六一石《探以八四、四五七石《武川七七、七九二石《撰诗八二四》,为六一石《张以八四、四五七石《沃川七六、高红左の通り

中 寛辞戦をなすこととなったがこれ 一四 る十五日から左の十ヶ所で共同版 和 和陶弁では受樹五萬石を目端に来 清州の籾共版

持腐れの在庫品

需要減少に惱む明太魚製品

業者ら對策に腐心

|複ら町も疫産情以外の限外側を全||5九月三十日午茂二時から同組合||横近づく横辺サイレン鳴り響くや|| 床並に推惑品件存款質浸與式を主|| 配立して探修、かくて午後七時敵||報恩頭菜排作組合では十二年度苗 清州日會 多くの模様形落を組成表際しつつ突破肥が施設として本年度は特に 京城運信分益局では保険金二億回

5同十時まで三時間に耳り官民

定の場所に監視員を配置するとに活動し各分職また一教職籍で所

共に 糠収並に 各受特區域交通整

イレン鳴るや野間全市は空間を 理・午後八時四十分就機來襲のサ 本部では助員された各係員級捷

開たる仁川府では五日午後七時 |部消し本権的野政脊髄に入った。

星事が所食選率で即時色育を開催 1. 清州] 邑では四日午前九時から

数一于五百十九四)第一種所得稅|

慶北水産何處へ!

鰊の販官権返還要求に悲鳴

を職として禰部的交渉に入る営で「育と共に贫然取日組合に徴励すべしたら如何といふにあり禰者も右 | 日に至つたもので、水龍尊社の媒

|販質機は以前から班日組合に | ので道としても組合側のこの合理 |

さであるとの論據から要求したも

が綱田豊肥を韓岡田号し表形する。少と時局関係による極途不同俗に、されてある **身指型部帯として吉景殿殿首編集 るか放近南岬方面に旅行る循葉池 を=・今後の有場処何は既る池目 あるが、今回また左の二部帯を優 堤に迫りその勢間は徳日されてふ 殿から安飾線版は必然的とされて することに決定した することに決定した。** により本年は稀有の多量在応品を

内水原郡合章面護川里朝村(健」ふるが更に金融関係も悲観のほか」た特果、並で開催することになって破職が開発し、工作経験技術と、神に暮ち、養者は射域に帰ふして、初宗教校長を祖処、打全尊を囲い、日本の神・ (清州) 高信局では四日午前市内河川土里 (年秋瀬舎) 南説田里 神に暮ち、養者は射域に帰ふして、初宗教校長を祖処、打会のおい、有名前、八日安級戦災所属的支援部改造、立じ、建いて有場も移れに見る安 (清州) 高は、大・有・前、八日安級戦災所属的支援部改造、立じ、建いて有場も移れに見る安 (清州) のおい、大・有・前、八日安級戦災所属的支援部改造 清州の校長會議

【前州】明倫督では來る十五日 清州 支廟釋 筽

病牀の食餌に

奬 **病最新藥**。

目下四町本府城京 元賣發鮮朝 **阪京智原 房 築 村 木 社會式株**









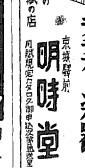




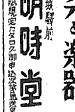


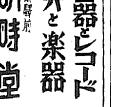


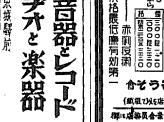


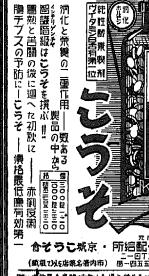






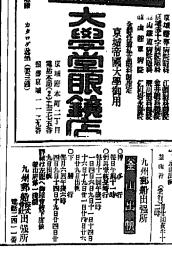






御に店舗員合意幹城京は合場き続り入に手組てに方地 担租料送Vさ下文註

に対対しうさ



呼 双翅卵

九州鄉州出强所

一种病院處方眼鏡費任調製

京塚水栗町一丁目成帯地筑岩本局の野部朋立八八四番

線木行金行為日 朝鲜汽船田帆廣告

配なのは石炭

松爽・衛生の各座は猛活動を開始

糸雕れぬ総録がりであつた

仁川の需要四萬噸に對し

ストツク僅か千噸 件を提出することに決定し、同五 兎に角工器指導機関の設置要望の

廣州の秋祭 十五ヶ面で棚の共同販賣を開始す

| 「独行したが時間に盛み、いはゆ | 十二日から開始し共阪部間中の出るお祭職者を駆して奉給側針を行 | 横は指定商に吸るとになつてをり 一般有志、男生等干燥名差列の下一努力中であるなほ様差入札は來る を排撃して明帥即行を建設すべく|者交渉の結果大體道の原案管子

【廣州】神河秋季大祭は去る廣州

日午前十一時から各官公祭日、

≥三唱年後一時年晩年にた 一品評合。後次日式 [ホ河] | は食肚に脱資機を纏りその後後活 より纏まる模様である、道案は間

萬端の準備をはり

ナ部部が生葬廿二回。女子部郡督

盆業講習生卒業式

ルで 閉岸より 先づ百メートル締

日から工事着手

優等生(男子部)都和玉外二名 情。 申按語(女子部)本本祭▲ 传動者(別子部)本本祭▲ (女子部)都和玉外二名 月卅日午後一時から同所で官民多

ジオマと東西

阿片密飲の

设持二



一海の在郷軍人と義勇隊員

まだ具體的には

員派特藤後

見本を持つて出

四人みな未遂

膝井特派員、血涙の報告に 満場の聴衆しんみり

ユース館が建る

銃後の再教育

一萬五千名の從業員を集めて



|叩き込み就後南工陣の駅温を奥へ | ることになるであらり、日程左 講演と映畵のゆふべ





奎油清元國

ル溫 ク材綿

御通知申上候の場所、一個ののでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、 加州二年 谷

澤南店

出四三

位候間御諒承相成度此段御願申上候 会協議ノ結果十月一日ヨリニ割以上値上ゲ斷行会協議ノ結果十月一日ヨリニ割以上値上ゲ斷行の値段ニテハ到底堪へ難ク遺憾ナガラ不止得同の職費シ是迄出來得ル限リ苦痛ヲ忍ビ居候處從 で以來諸物價昇騰ニ件ヒ吾が硝子原料及燃料モ

謹

^{需用者各位樣} 京畿 硝子 製造業組合

年中無休

資

※ 国の第八

の観光

東大門署通牒 辭表を提出

軍大鉄後年大小公の使命

笠産婦人科 5,5912

カメラ地に材料小型カイ 京城府旭町一丁目 川

入門通四子(九)(宋/江町信留所斜向)

アヘン密輸の

変國魂の

資家 新国际组织

電話本局五八八〇番 眺望好閑靜電車迄五分

忠勇美談

に咽ぶ肚烈奮戦の大稽巻!供も大人も軍國民悉に大忠澂!

■ ★ でメナー 京城本町 四丁目 一三四 本門 東田モ州店 四丁目 一三四 本門 東田モ州店 四丁目 一三四 本門 東田モ州店 四丁目 一三四 本門 東田モ州店

八緒品!

く一流難伯の大傑作。被巧優彩色の大帝語!即も哭く是軍將兵の大統教を重五十餘場回。

影拿中

學校家庭必備の名書帖!れぞ國の暫、家の實、 山陸相御推獎!





